

## 年間第 3 3 主日の説教

金 大烈 神父 2010 年 11 月 14 日 (日)

### 《良く捨て、良く選ぶ》

主の平和！

今日の福音（ルカ 21・5 - 19）でイエス様は、人々がきれいな石と奉納物で飾られている神殿を見て、すばらしいと話している姿をご覧になって“この素晴らしい神殿が全て崩れる日が来るでしょう”と話されます。すると人々は、“その日はいつでしょう”と尋ねます。なぜ尋ねたのでしょうか？それは既にイスラエル歴史にはエルサレムの神殿が敵の攻撃によって破壊された事があり、その為に民全体がばらばらになり、多い人々が捕虜としてバビロニアに連れて行かれ奴隷の生活を強いられるという辛い過去があったからです。それで、“神殿が崩れる日が来る”というイエス様の言葉に敏感になり緊張を感じたのでしょうか。

今日の福音の結論はどのような形の生き方をしても人生の中であわされる事故、病気、自然の災害等があっても、信仰の希望そして忍耐力を持って、どのような難しさをも乗り越えるようにというメッセージです。

さあ、今日は少し福音と関係ない話しをしたいと思います。

いつも私達は何かを《選択》しながら生きています。それでは、《選択》という言葉から浮かぶイメージは何でしょうか？ 選択・選ぶ事はどういう意味でしょうか？ 私達は何かを選ぶ時に脳の働きを注ぎます。そこには必ず隠れている何かがあるんですが、私達は殆どそれについて意識しない傾向があります。それは何でしょうか。それは《捨てる》事です。何かを選ぶ事は結局、何かを捨てる事です。私達は大体選ぶ事に全てをかけます。何かを選ぶ事は何かを九割以上《捨てる》事になります。例えばこの人を『憎む』か『愛する』かどちらかを選ぶ場合『憎む』心を選んだら『愛する』心を捨てなければなりません。そうでなければ完璧に『憎む』事は出来ません。このように私達はやってきたと思います。

皆様、私達が何かを選ぶときには先ず、自分の《選択》が正しいかどうか考えなくてはなりません。その《選択》は何の為にしなくてはいけないのかを、そして、この選択の為何を捨てなくてはならないのかを良く考えなくてはなりません。

皆様は選ぶ事は苦手でしょうか得意でしょうか？ということは、捨てる事が苦手な人は選ぶのにも苦手になります。イエス様も選びました。死の杯を初めは退けて下さるように願いましたが、結局イエス様が選ばれたのは御父の御旨であるその杯でした。イエス様は神の御旨を全てわかっていました。この杯を飲んだ後の結果、約束された事が、何かもわかっていました。その為イエス様は怖かったんでしょう。迷いもあったんでしょう。このようにイエスさえも迷われましたので、この世で何もわからない私達人間の立場は何かを選び、何かを捨てる事は簡単な事ではありません。

皆様今まで選んで捨てたものは何でしょうか。 成功したものも失敗したものもあると思います。

覚えておきましょう。何かをよく選ぶ為には良く捨てる事が前提であることを覚えましょう。皆様が今ご自分の手に握っている物が捨てる必要のある物かもしれません。極端に言うと2つしか方法はありません。取るか捨てるか、すなわちいい生き方をするか悪い生き方をするかを決断の真ん中にはあります。

その意味で、私達の人生に対してもう一度計画を立て直さなくてはいけないと思います。皆様良く捨てて下さい。そうすれば良く選ぶ事になります。

ありがとうございました。